

第3回浜田市総合振興計画審議会 【意見の要旨】

日時 平成27年6月30日(火)
午後2時～午後4時50分
場所 浜田市役所（4階）講堂

[進行／会長]

(1) 元気な浜田づくり市民委員会の実績について、及び(2) 基本構想の骨子案について	
佐々木大輔 委員	「部門別施策体系」の並び順の意図を教えてください。 「定住」をどの大綱で明確にするのか、ぼやけてしまうのはまずいと思う。 「建設」という言葉は合わないと思うので、適当な言葉を検討されたい。
企画係長	部門別施策体系の優先順位の考え方は必要と思っており、今後、調整したい。 「定住」部門はなくす案だが、人口減少対策の施策は、各部門の大綱で示すように考えている。「建設」部門の表現について提案があればお願いしたい。
栗栖委員	「定住」については、非常に関心があり、弥栄では大きな政策としてきたところだが、各自治区で定住政策を打ち出した時に認めてもらえるものか。
地域政策部長	「定住」は重要であり、自治区でやられることも尊重できるような流れにしていきたいと思う。
玉置委員	100人委員会の結果を基にした組み替え作業は、全体的に上手く分けていただいたと思う。「建設」の言葉は、そぐわない気がするので検討されたい。「環境」の中の「人づくり」は、ここだけ特に取り上げてあり、真意が分からない。
企画係長	「環境」の「人づくり」の表現は、100人委員会での意見が多かったので、区分として残した。今から部門別計画の中身を作る中で、区分や小テーマのタイトルも変わってくると思うので、今後検討したい。
(3) 進捗状況報告書について	
玉置委員	指標の多くは、施設数や開催回数などの絶対数を挙げているが、この項目で指標として計れるのか疑問がある。サービスを行ってどう市民の考えが変わり、新たな活動に参加したかなどで計るべき。今の指標は再考が必要だと思う。
木村委員	6ページの①簡易水道では、目標値32か所、現状値が47か所で68%、C評価になっているが、他と違った計算や考え方でこのようになっているのか。
(4) 人口推計について	
佐々木玲慈 委員	この人口シミュレーションを市民に分かりやすく具体的にし、子どもを産み育てる人たちをターゲットにした計画でなければならない。何を柱に何を目標とするかの検討資料と受け止めたので、どう組み立てていくのが大事だと思う。
槇岡委員	人口を増やすのは理想だが至難の技で、今は企業も人を減らす状況にある。 働く楽しさと、市内に物を作る場所、生産拠点を地域の皆さんが自分たちの事として考えるチームを作り、推進することが必要だと思う。
(5) 協議項目について	
佐々木大輔 委員	キャッチフレーズは、市民向けか市外の人向けのものかでどういうメッセージにするかが違ってくる。「浜田って何があるの」という時に、一言で言えるキャッチフレーズだと話しやすいので、誰に届けたいかを考えて決めてほしい。
地域政策部長	先ほど体系の並び順は今後検討したい。「建設」という言葉と、「環境」の中の「人づくり」についても検討するので、引き続きご意見をいただきたい。
佐々木大輔 委員	進捗管理については、第三者のチェックの機能もあった方がいいと思う。進捗状況をタイムリーにWEBで発信することもできるので、頻度を上げたチェックや情報公開がいいと思う。

玉置委員	指標については、「健康福祉」部門では、例えば、市民が信頼できる主治医がいるか、医療費の負担の程度のこと、市民がどう感じているかになると思う。 現行は死亡率を挙げているが、予防や治療などの段階に応じて必要なものを見るべき。自殺率が高い原因を調べ、どうするかを指標にしていいただきたい。 行政から見た施設数や受入数等の目線ではなく、サービスを受ける側の現状を計る重要な項目を見つけ、文章や数字で評価すべきだと思う。
玉置委員	各部門の見出しは、どういうことかというものがある。美しい見出しはいらないので、具体的な内容が分かるものにしていいただきたい。 「教育・文化」では、「学力」が項目から落ちていることに疑問を感じた。
佐々木大輔委員	目標値は、それを見て実態が把握できなければいけないと思う。 目標項目は、実態に即して定期的に追加・削除など見直す方がいいと思う。 浜田市で色々取り組めば、社会増はプラスにできると思う。子どもたちがいい未来のイメージを持たないと離れると思うので、10年を見据えた可能性の要素も入れてほしい。今は人口社会増減が0の前提なのでプラスにしてほしい。
地域政策部長	心強いご意見なので、審議会やそれ以外の場でもアイディアをご提言いただきたい。人口増が出せるとすれば、インパクトのある計画になると思う。
馬場委員	目標値を設定することは大事なことと思うが、そぐわないものもたくさん見受けられる。またワーキンググループに上がってくるのか。
地域プロジェクト推進室長	どういった指標にするかを詰めていくことがワーキングの役割でもあるので、審議会でのご意見も参考に話をしたい。
馬場委員	キャッチフレーズで、若者がどんな浜田市だったらいいかという着眼点も入れるなら、子育て支援課とかでも声を聴いているのではないかなと思う。
地域政策部長	若者の想いやキャッチフレーズを伺っているかは調べてみたい。中高生アンケートや県大生ヒアリング等も行う中から出していくことも必要だと思う。
佐々木玲慈委員	新聞で山陰リニアやＪＲ「瑞風」豪華寝台列車について報じられていたが、それらにお金をかけるより、広島・浜田間を鉄道でつないで浜田を広島のベッドタウンとし、働く場所は広島で住む場所を浜田にする提案で、これも浜田の今後の生きる道として研究してはどうか。自治体で役割分担し、産業のまちと住むまちとで連携をすれば現実性があると思う。
佐々木重盛委員	Ｕ・Ｉターンも重要だと思うが、浜田に住んでいる人、これから生まれ育つ子どもたち、若い世代が地元に残って活躍できることが重点の一つと思う。あまり外の方に傾き過ぎると、今いる人たちから高い評価はもらえないと感じた。
佐々木玲慈委員	この冊子の発行部数はどれくらいで、誰が何に使うために作るのか、どう配るのか。ターゲットによって見る人が手を出すようなデザインがいいと思う。
企画係長	現計画書の発行部数は、本編 1,200 部、概要版 28,000 部で、概要版は全戸配布した。本編は知らない部分がたくさんあると思う。対象は市民になる。
村井委員	概要版は一人で見ても理解できないので、町内会や自治会単位で説明していただける場があれば、浜田市に協力しようとか、動いてみようとか、地域のために頑張ってみようとなるのではないかなと思う。
3 その他	
栗栖委員	これから地域協議会で自治区別計画について協議することになるが、いつの段階で、自治区別計画なるものが示していただけるか。
地域政策部長	基本構想が固まってから、前期基本計画の中で自治区の計画を作る作業になる。第４回審議会が終わった頃から作業に入り、ご審議いただきたい。

(午後 4 時 50 分閉会、所要時間 2 時間 50 分)